

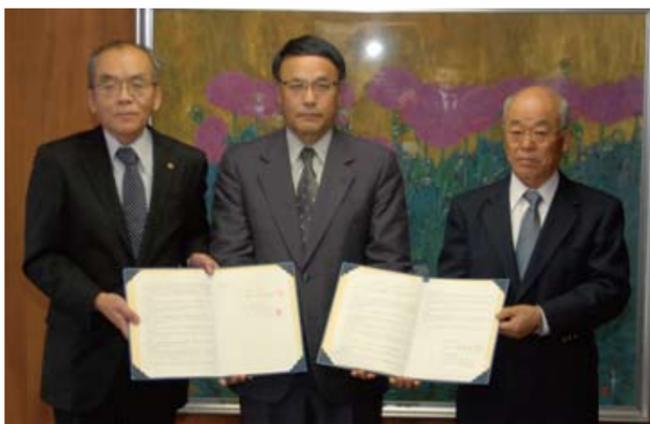
澤田洋一さんに感謝状が贈られました！



3月18日、市役所にて、澤田洋一さんに感謝状と記念品が贈呈されました。  
澤田さんは10年の間、地域協働のまちづくりのモデル地区として始まった東桂地域協働のまちづくり推進会の会長職を務められました。その間には桂こども教室事業や学童保育、スクールガードなどに取り組みました。また、「まちづくり文化祭」や、地域の貴重な資源である「十日市場・夏狩湧水群」や「おなん淵」の保全・整備活動を行い、これらの活動は外部からも高く評価を受けています。いつも市のために尽力してくださっている澤田さん、大変ありがとうございました！

「災害時におけるレンタル器材の提供に関する協定」と、「災害時におけるLPガスの供給に関する協定」が締結されました。

3月18日、災害時における被災者のライフラインの確保のために、トイレや発電機、ユニットハウスなどの調達の協力体制のために、大和リース株式会社と「災害時におけるレンタル器材の提供に関する協定」を締結しました。また調理用を基本としたガスの供給などの協力体制のために、一般社団法人山梨県エルピーガス協会都留地区と「災害時におけるLPガスの供給に関する協定」を締結しました。これらは、災害時の不便を強いられる避難所での生活などで、市の防災資機材や備蓄品だけでは、その対応が困難であることを想定したものであり、大規模災害時にはご協力をいただきます。よろしく願います。



交通ルール・マナーを守りましょう！「黄色い帽子」が贈られました！



3月19日、市長公室において、黄色い帽子（交通安全帽子）の贈呈式が行われました。  
36回目を迎える今年度も、明るい社会づくり運動推進協議会より、市内の新入学児童253名に対して黄色い帽子が贈られました。  
これは、バザーなどを通じ、多くの個人・団体・企業からご協力をいただいて贈られるものです。当日は、児童の健康と健全な成長を願う趣旨とともに市長と教育長に手渡されました。  
新入学児童をはじめとした皆さん、日頃から交通安全の意識を持ち、交通ルール、マナーを守って交通安全を心掛けましょう！

都留市の人口

H25.3.1 現在  
男 15,715人 (-19)  
女 16,380人 (-26)  
計 32,095人 (-45)  
世帯数 12,498世帯(-12)  
※( )内数字は前月比

4月の納税

軽自動車税(全期)  
納税には安全で便利な口座振替をご利用ください。

都留市民憲章

わたくしたち都留市民は  
○健康で明るいまちにいたします。  
○自然を愛し、美しいまちをつくりまします。  
○文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。  
○たのしく働き、活気ある産業のまちに育てまします。  
○たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくりまします。



市内で活躍する「人」・「団体」、市内の「出来事」などにスポットをあて、ご紹介するコーナーです。



消防団による防火パレードが行われました！

都留市消防団の各分団は、3月1日から7日までの7日間実施された全国春季火災予防運動の一環として、3日の日曜日に各分団管轄地域において防火パレードを実施しました。  
このパレードには6分団47台の消防車と団員243名が参加し、消防車に積載されている拡声器を使用して、「春の火災予防運動が実施されています」「消えるまで 出ない行かない 離れない」この統一標語のもと火災予防に努めましよう」と呼びかけながら広報が行われました。  
火災の発生しやすい季節は過ぎましたが、引き続き火の取り扱いには十分注意して、大切な生命、財産を火災から守りましよう。



都留ライオンズクラブより、テントと遊具が寄贈されました！



■(右)とても大きな遊具です。子どもたちもきっと楽しんで遊んでくれると思います。



3月8日、都留ライオンズクラブの皆さんのご厚意で、テントと室内遊具が寄贈されました。これは都留ライオンズクラブの50周年記念事業の一環で行われたものです。遊具はまちづくり交流センター(旧市文化会館)で利用され、テントについては、今後市駐車場において行われる献血の際、利用されることとなります。  
都留ライオンズクラブの皆さん、ありがとうございました！

“高校生熟議 in 谷村工業高等学校”が行われました！

3月14日、谷村工業高校の建設科2年生の生徒たち29人が熟議を行いました。これは、同校が行っている「平成24年度夢をはぐくむ体験活動サポーター事業」の一環で実施されたものです。講師として招かれた、戸田達昭さんの講演の後に、6組に分かれて「都留市の現状把握」「よいところ、改善すべきところの明確化」といったテーマで議論しました。  
都留文科大学生や山梨大学学生、そして3月に建設科を卒業した2名の先輩達がサポーターとしてつきました。この中では「市内には人が少ない」「お店は少ないが自然がある」など意見があがったり、問題の解決策を一生懸命に考えて発表していました。

